

# 令和3年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校 理学療法学科

## 令和3年度学校関係者評価委員

### ■保護者

北村亜希子様(3年生保護者)

### ■企業関係者

牧野寛様(医療法人社団マイルストーン リハビリ統括)

### ■他校関係者

小宮山一樹様(専門学校社会医学技術学院 学科長補佐)

## 1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	A
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に改善が進んでいるので、今後もこの方向で進めていきたい。		
【改善のための方策】		
継続して実施する。教育理念や教育目標に関しては、教員が明確に意識して学生に伝えていく。		
【関係者評価】		
特記なし		

## 2. 学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	B
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	A
13	BSCは適切に活用されているか。	A

### 【現状の問題点】

設問12は学校内では低い評価の部類に入る。多忙な中であるが改善案を検討したい。

### 【改善のための方策】

3名の新人教員の入職に伴いメンター制を取り入れたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイレギュラーな対応を求められる業務が多く、十分に教員教育が行えなかった。来年度はメンター制の強化・徹底に取り組んでいく。

### 【関係者評価】

特記なし

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
改善が進んでおり教育の質も上がってきていると思われる。設問23についてはなかなか難しいことであるがより一層の改善に努めたい。		
【改善のための方策】		
新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の変更など対応に苦慮した。来年度はコロナ禍でも実行できるような代替案を検討して、スケジュール通りに取り組めるようにする。		
【関係者評価】		
行事に対する準備は不足していたかもしれないが、聞いている印象では満足度は高かったことが見受けられる。設問自体難しい内容であり、見直しが必要ではないか。(牧野)		
教育活動は、やればやる分だけ学生のためになると思いき実施をするが、その分業務量が多くなり、スケジュールが過密になってしまうため、新しいことをやる時には取捨選択を含め、慎重にならなければならない。また、教員側の自己満足で終わるのではなく、教員と学生の満足度をリンクさせていくことが大切。過密なスケジュールでも対応できる学生もいるが、そうでない学生もいるので個別性も重要視していくべき。(小宮山)		
実習を通しての成長は著しく、発言等も前向きになったと感じるので来年も是非機会を設けていただきたい。(北村)		

<b>4. 学修成果</b>		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	A
<b>【現状の問題点】</b>		
特に問題はなかった。		
<b>【改善のための方策】</b>		
継続して実施する。		
<b>【関係者評価】</b>		
特記なし		
<b>5. 学生生活支援</b>		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
<b>【現状の問題点】</b>		
改善されており問題はなかった。より一層の改善に努めたい。		
<b>【改善のための方策】</b>		
継続して実行する。来年度はグランシップの広場を活用しての防災訓練を予定している。		
<b>【関係者評価】</b>		
特記なし		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
学生数の増加、機器の老朽化へ対応していくための整備計画の策定を検討していきたい。		
【改善のための方策】		
必要備品の確保、機器の老朽化など適宜確認して計画を立てる。		
【関係者評価】		
特記なし		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
募集活動については順調であった。		
【改善のための方策】		
新人の教員達を中心となってICTの活用して学科のPRに注力した。(授業の様子などをこまめに動画や写真に撮影し、Instagramなどを活用して頻繁に宣伝活動を行った。)来年度は、学生スタッフの育成に力を入れ、学生スタッフ中心のオープンキャンパスを計画・実施する。		
【関係者評価】		
特記なし		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・ 中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
39	・ 学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
特に問題はなかった。		
【改善のための方策】		
継続して実施する。		
【関係者評価】		
特記なし		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に高評価であるが、ハラスメントについては年々学生の意識も変わるので、今後も改善を続けて行く必要がある。		
【改善のための方策】		
継続して実施する。ハラスメント防止については、年度の開始や実習前に啓蒙活動を実施し、保護者説明会や実習指導者会議の際も実施する。		
【関係者評価】		
特記なし		